

## 共同運営部門：感染症センター

### ー概要ー

当感染症センターは泉佐野市立感染症センターとして、輸入感染症の国内侵入を阻止するため1994年に関西国際空港対岸のりんくうタウンに建設された。りんくう総合医療センターとして総合的に運用されていたが、1999年4月施行の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」施行以来、市立泉佐野病院の管轄下に移行した。

2003年より鳥からヒトへ感染が認められたH5N1亜型ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザが、パンデミックインフルエンザ(新型インフルエンザ)に変異することを危惧し、体制の強化を図っていたところ、2009年4月、豚由来による新型インフルエンザ(H1N1)が発生した。感染拡大防止のため当センターが中心となり、国内・地域への大きな役割を担った。新型インフルエンザ(H1N1)は世界中でパンデミックをひき起こしたが、病原性が高くはないことが判明した。

2010年4月1日「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第44条の2第3項の規定に基づき、通常の季節性インフルエンザ対策に移行し、その名称については、「インフルエンザ(H1N1エイチイチエヌイチ)2009ニセンキュウ」となった。

しかし、高病原性鳥インフルエンザのヒトへの感染は依然報告されており、1・2類感染症や未知感染症の発生、侵入にも備え、受け入れ態勢の強化を引き続き行う必要がある。

その他、全国3か所、西日本唯一の特定感染症指定医療機関としての役割を果たすべく、見学者の受け入れや、関西空港検疫所等関連機関との会議や訓練等も実施している。

### ー実績ー

#### 1. 感染症センター見学者

日 時	所 属	人数	見学・内容等
平成24年 4 月	洛和会音羽病院	3 名	感染症センター内見学
8 月	泉佐野保健所 自治医科大学学生	6 名	感染症センター内見学
平成25年 2月1日(木) 9:30～14:30	奈良県立医科大学	11 名	午前：講義 60 分 センター内見学・防護服の 着脱 午後：講義 90 分 ヘリポート見学

#### 2. 感染症センター 会議及び合同訓練

1) 平成24年5月 10月 関西空港健康危機管理連絡会議  
場所:関西空港検疫所会議所、CIQ合同庁舎 4 階 会議室

2) 平成24年10月2日 関西空港検疫所 搬送訓練  
場所:関西空港 りんくう総合医療センター 感染症センター

#### 3. 感染症センター講演会

平成24年9月25日

「感染症診療の基本的考え方と院内感染対策」

奈良県立医科大学 感染症センター 教授 三笠桂一

#### 4. 感染症センター入院者

(1994年10月～2012年3月まで 今年度新規患者なし)

疾 患 名	人 数
細菌性赤痢	17 名
アメーバー赤痢	1 名
腸チフス	6 名
コレラ	4 名
SARS疑似症例	1 名
新型インフルエンザ(A/H1N1) 疑似症例含む	2 名
	累計 31 名